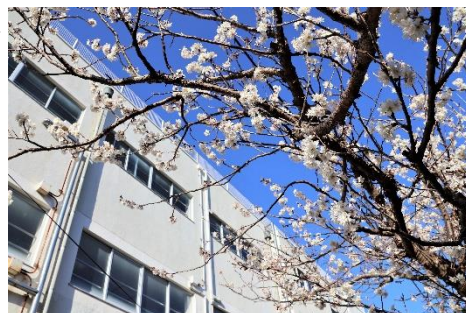




啓蟄の頃 陽気に誘われて地中の虫がそろそろと動き出します！

春まだ浅い季節ですが、山の木々は待ちかねたように花芽をふくらませ、若葉が開き始め、足元からは虫がそろそろと動き出します。長い間土の中冬ごもりをしていた、いろいろな虫が陽気に誘われ穴をあけて地上に這い出してくるところから24節気では、この時季を「啓蟄（けいちつ）」と呼びます。また、この頃は、春雷がひととき大きくなりやすい季節です。学校の木々も白梅が散り、校舎裏の西洋実桜（サクランボの実がなる桜）が満開を迎え、盛んに野鳥を誘っています。先達が植えたいろいろな種類の木々が子供たちに四季の移り変わりを感じさせてくれます。



さて、一年の中で一番大切な行事「卒業式」が来週に迫っています。6年生は、校旗継承式を済ませ、いろいろな役割を5年生を中心とした在校生へ引き継いできました。また、「ありがとう集会」で在校生の感謝とお祝いの気持ちを受け取りました。あとは3月16日の巣立ちに向けて気持ちを高めていきます。

【校旗継承式～伝統の引継ぎ～】 2月28日

2月最後の28日、朝の時間、「校旗継承式」を体育館で行いました。校旗を6年生から5年生へ手渡すことで、潮見小学校の伝統も引き継ぎます。当初1～4年生は、教室でリモート視聴を計画していたのですが、この後行われる「6年生 ありがとう集会」も含めて、全校児童を体育館に集めて対面で実施することにしました。1年生から4年生までが見守る中、託す6年生、受け継ぐ5年生でしっかり継承ができました。

その後、これも潮見小学校の伝統ですが、6年生による校歌の演奏がありました。今年度もコロナ禍で行動が制限されましたが、その中で6年生はよく頑張りました。



【6年生 ありがとう集会】 2月28日

同じく28日の2校時に、「ありがとう集会」が行われました。新運営委員会が進行・運営する6年生の卒業とお祝いと感謝の気持ちを届ける集会です。

まず、6年生を花のアーチで出迎えました。その後全校ゲーム、1年生からのメッセージと続きました。メインは、在校生それぞれの学年が工夫を凝らしたビデオメッセージです。歌やダンス、寸劇、合奏と会場から笑顔があふれました。6年生もとても嬉しそうでした。これらの思いを受け取り、卒業式へと気持ちを高めていきます。



【令和5年度 4月主な行事予定】

7日（金）	着任式 1学期始業式
10日（月）	給食開始（在校生） 山澄中入学式 入学式会場設営 身体測定（456年）
11日（火）	入学式
12日（水）	身体測定（123年） 委員会活動
13日（水）	集団下校班編成
17日（月）	交通安全教室 視力検査（56年）
18日（火）	児童朝会 1年給食開始 全国・県・市学力テスト（456年）
19日（水）	歯科検診（246年） 尿検査1次
20日（木）	授業参観・懇談会（全学年）
21日（金）	歓迎集会・遠足
24日（月）	視力検査（34年・特） 家庭訪問①（潮見・干尽）
25日（火）	避難訓練 視力検査（12年） 家庭訪問②（潮見・干尽）
26日（水）	家庭訪問③（潮見） 歯科検診（135年）
27日（木）	家庭訪問④（若葉）
28日（金）	家庭訪問⑤（若葉）
5月1日（月）	家庭訪問⑥（福石）



【卒業式に向けて練習が本格化してきました】

どんどんと日にちが過ぎます。3月になるとそのスピードが加速します。卒業式まで、あと10日を切り、その練習も本格化してきました。先週金曜日は、朝の時間に全体（456年生）練習で「呼びかけ」を、2校時には、6年生だけで卒業証書授与の所作の練習をしました。

だんだんと緊張感も高まっているようです。子供たちの真剣な思いが伝わってきました。



【「キツネの小判」集めに夢中！】

2年生の子供たちが校庭の木々の下で探し物をしていいます。何を探しているのか尋ねると、「キツネの小判」という返事が返ってきました。見せてくれたのは、1センチ弱の平たいだいたい色のもの。目を輝かせて、菓子箱やポチ袋に「キツネの小判」を集めていました。

そういえば、前任校でもこの時季に夢中で集めている子供たちを見かけました。どこの子供も一緒だなと微笑ましく思いました。

正体は何か？そこら中に落ちているのはなぜか？調べてみると、正体は「ハゼノキの種」。そこら中にあるのは、野鳥がハゼノキの実を食べ、排出した糞（フン）の中に残ったもので雨で洗われてきれいになったものでした。潮見小の校庭の木々には、たくさんのヒヨドリ、ジョウビタキ、メジロなどが飛んできます。ハゼノキからそのまま落ちた種は発芽しないけれども、野鳥が食べ遠くに運ばれた種は、野鳥の胃酸で種の表面の油脂が溶かされ、雨水を吸うことによって発芽しやすくなるのだそうです。子供たちを夢中にさせるものには、命のつながりや自然界の不思議がつまっていますね。2年生は、夏には必死にセミの抜け殻を集めていました。こういう体験が、子供たちの心情を豊かに育てます。



【卒業生へのメッセージ】 3月1日

1日、職員室前に先生方から卒業生へのメッセージが貼り出されました。旧運営委員会の5年生（写真）が、自主的に先生方からメッセージを集め、6年生の行事写真を集め、模造紙にレイアウトして仕上げました。お世話になった6年生のため、こういう企画を思いつき実行に移したことが嬉しいですね。

早速、職員室を通る児童が足を止め、メッセージを読む姿が見られました。



【6年間の成長を実感！】 3月1日

1日から今年度最後の体重測定が行われました。特に6年生は、小学校最後の身体測定となります。今まで、この機会を捉えて測定だけではなく、健康に関係する話が養護の先生からあっていました。6年生に向けて最後の話は…6年間の成長を実感してもらうことでした。一人一人、6年間の身長・体重の成長とメッセージが添えてある二つ折りのファイルをもらいました。実感しやすいように6年間の身長の伸びと同じ長さのリボンが添えられていました。卒業証書と同じように大事に受け取り、嬉しそうに眺めていました。

6年間の成長を実感するとともに、家族や関わっていただいた方々への感謝の気持ちを忘れないでほしいものです。



【山澄地区標語大会入賞者の表彰】 3月3日

第5回の山澄地区標語大会の入賞者4名の表彰を校長室でしました。これは、山澄地区自治協議会が主催して、地区4校の児童生徒から標語を募集して審査したものです。各校の選ばれた作品はポスターになり、学校や地区コミュニティセンター、公民館や地域の掲示板等に広く貼り出されます。

（最優秀賞） 小森 ○○○ さん（2年）

（優秀賞） 松下 ○○ さん（1年）

山口 ○○○ さん（3年） 松本 ○○さん（5年）

本校に限らず入賞した作品を見ると、地域のつながりややさしさ、ふるさと山澄の風景等をよんだものが多かったです。この地域の良さを感じ取っているんだなと嬉しく思いました。



校長の独り言⑫ 漫画家 松本零士さんを偲んで…そして、思うこと。

2月末に、「銀河鉄道999」「宇宙戦艦ヤマト」で知られる漫画家の松本零士さんの死去が伝えられました。私は、小中学校期に、ど真ん中世代としてこれらの漫画やテレビ放送をわくわくしながら楽しみにしていました。中1の時には、下敷きに宇宙戦艦ヤマトの絵を模写し、友達に自慢気に見せていたことを思い出します。

松本さんの作品には、主人公が地球を守るために戦う「ヤマト」や「キャプテンハーロック」など、戦場を舞台にした作品が多く、背景には自身の戦争体験があり、「二度と繰り返してはいけない」と平和への思いを強く訴えていました。7歳で終戦を迎え、「日本中が厳しい生活を余儀なくされて惨めな思いを味わい、戦争に負けるということがどういうことかを嫌というほど思い知らされた。」と自身の経験を語っておられます。

戦後、私たちを魅了した有名な漫画家は、当然ながらさまざまな戦争による悲惨な体験を経験されています。それを漫画にされている方もいます。手塚治虫さん、水木しげるさん、ちばてつやさんらも自身の戦争体験を綴った漫画があります。私は担任時代、これらの戦争を描いた漫画をよく子供たちに紹介しました。言葉より漫画が伝わりやすかったからです。ところが…、中沢啓治さんが被爆体験をもとに描いた「はだしのゲン」という漫画をご存じでしょうか。物議を醸しているのは、子供に伝わりにくいということで、広島県が平和教材から削除するそうです。80年前日本が体験した戦争をどう子供たちに繋げていくのか…。大きな課題です。